

コードレスステレオ

ヘッドホンシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

- 警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよく読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管してください。

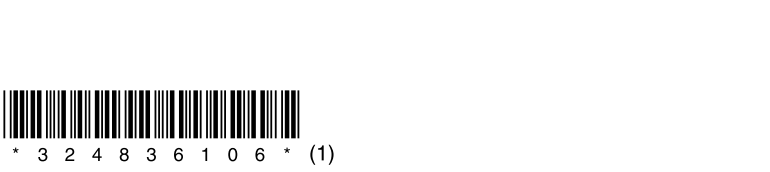
コードレスステレオ

コードレスステレオヘッドホンシステム

コードレスステレオヘッドホンシステム

MDR-IF240RK

©2002 Sony Corporation Printed in Malaysia



* 3 2 4 8 3 6 1 0 6 * (1)

SONY

主な仕様

一般仕様	
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	右チャンネル 2.8 MHz 左チャンネル 2.3 MHz
周波数特性	18～22,000 Hz
トランスミッター TMR-IF240R	
電源	DC 9 V（付属のACパワーアダプターを使用）
音声入力端子	ピンジャック/ステレオミニジャック
最大外形寸法	約154×78×99 mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約115 g
ヘッドホン MDR-IF240R	
電源	付属の充電式ニッケル水素電池BP-HP550
	または、別売りの単4形乾電池
質量	約125 g（付属の充電式ニッケル水素電池含む）

付属品
ACパワーアダプター（1）、接続コード（約1 m、ステレオミニプラグ×1 ⇄ ピンプラグ×2）（1）、充電式ニッケル水素電池BP-HP550（550 mAh min）（1）、プラグアダプター（ステレオミニジャック ⇄ ステレオ標準プラグ）（1）、取扱説明書（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）、保証書（1）

- 別売りアクセサリ**
 - ステレオミニジャックのLINE OUT端子につなぎたいとき
 - 接続コード RK-G136（1.5 m、ステレオミニプラグ×1 ⇄ ステレオミニプラグ×1）
 - 付属の接続コードをイヤホン端子につないで、右チャンネルの音がでないとき
 - プラグアダプターPC-236MS（ステレオミニジャック ⇄ モノラルミニプラグ）
 - 付属のプラグアダプターをなくしてしまったとき
 - プラグアダプターPC-234S（ステレオミニジャック ⇄ ステレオ標準プラグ）
 - 付属の接続コードをなくしてしまったとき
 - 接続コード RK-G129（1.5 m、ステレオミニプラグ×1⇄ ピンプラグ×2）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではコードレスステレオヘッドホンシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ご注意
CEマークはおもにEEA(European Economic Area)各国など、法律で定められている国においてのみ有効です。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火によるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険 充電式電池について

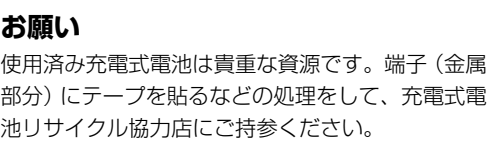
- 付属の充電式電池を他の機器に使用しない。この電池は本機専用です。
- 機器の表示に合わせてⓉとⓈを正しく入れる。
- 専用の充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

警告 乾電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

注意

- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。



液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

乾電池が液漏れしたとき 乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。







液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたつてから症状が出てくることもあります。

日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にゼロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp/ を参照してください。

警告表示の意味		
危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡やけがなどの人身事故が起きます。	
警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。	
注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	
注意を促す記号	行為を指示する記号	
 火災	 感電	 フラグをコンセントから抜く
行為を禁止する記号		
 禁止	 分解禁止	 接触禁止



お買い上げ店、またはソニーサービス窓口をお持ちになる際は、必ずヘッドホンとトランスミッターと一緒にお持ちください。



- 注意** 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない



大音量で長時間つづけて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

かゆみなど違和感があったら使わない
使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して医師またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

通電中のACパワーアダプターに長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



警告 安全のために

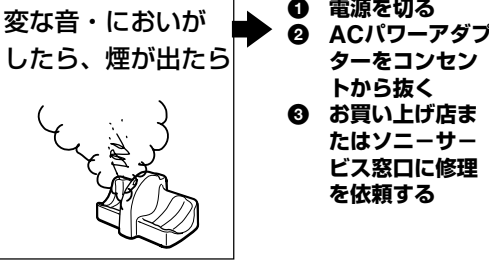
ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る**
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

- 定期的に点検する**
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

- 故障したら使わない**
動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 警告** 下記の注意を守らないと、**火災・発熱・発火・感電**により**やけど**や**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない
自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



この製品を海外で使用しない
ACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100 Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。



指定以外のACパワーアダプターを使わない
破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ……………0120-333-020	フリーダイヤル ……………0120-222-330
携帯電話・PHS一部のIP電話 ……………0466-31-2511	携帯電話・PHS一部のIP電話 ……………0466-31-2531
	<small>*取扱説明書、リサイクルマークの取扱い説明は、こちらへお問い合わせください。</small>

FAX（共通）0120-333-389

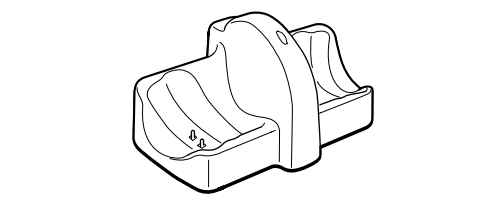
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

準備

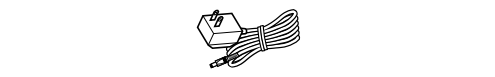
付属品を確認する

本機をお使いになる前にすべてそろっているか確認してください。

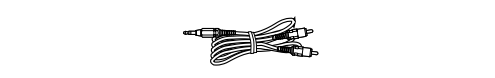
- トランスミッター TMR-IF240R



- ACパワーアダプター



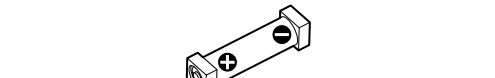
- 接続コード（ピンプラグ⇄ステレオミニプラグ）



- プラグアダプター（ステレオミニジャック⇄ステレオ標準プラグ）



- 充電式ニッケル水素電池



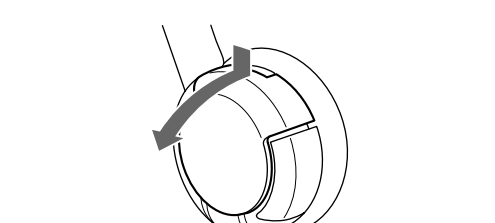
- ヘッドホン MDR-IF240R



付属の充電式ニッケル水素電池を充電する

ヘッドホンをトランスミッターにのせて充電します。

1 左ハウジング部にある電池のふたを開ける。

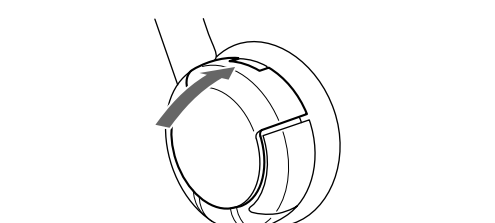


2 付属の充電式ニッケル水素電池を入れる。

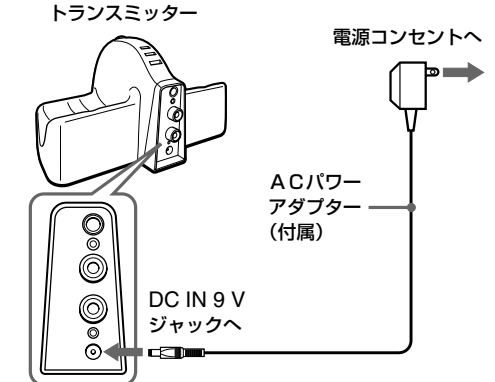
付属の充電式電池以外は使用しないでください。



3 電池のふたを閉じる。

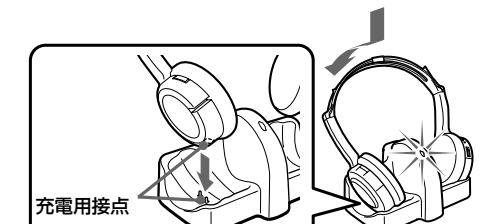


4 トランスミッターに電源をつなぐ。



5 ヘッドホンとトランスミッターの充電用接点**が接触するようにヘッドホンをトランスミッターの上にのせる。**

充電ランプが点灯します（約16時間後に充電が完了し、充電ランプが消灯します）。



ご注意

- 充電中はトランスミッターの電源が自動的にOFFになります。
- 本機は、安全のため付属の充電式電池BP-HP550のみ充電できるようになっています。他の充電式電池を使っても充電できませんのでご注意ください。
- 乾電池を入れても充電されません。
- 付属の充電式電池BP-HP550を他の機器に使用しないでください。この電池は本機専用です。
- 充電は0°C～40°Cの環境で行ってください。

充電ランプが点灯しない場合は

ヘッドホンをトランスミッターにのせるときは、左右を確認してください。また、トランスミッターとヘッドホンの充電用接点が正しく接触しているか、ヘッドホンの位置を確認してください。

ヘッドホンをお使いになったあと**再充電するには**本機は内蔵タイマーにより充電を完了しますので、ヘッドホンをトランスミッターにのせたままでも充電のしすぎによって故障することはありません。

充電時間	使用可能時間*1
約1時間	約1時間45分*3
約16時間*2	約35時間*3

*1 1 kHz,1 mW+1 mW出力時

*2 充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間

*3 周囲の温度や使用状態により、上記の使用可能時間と異なる場合があります。

電池が残り少なくなると

充電式電池が消耗してくると、ヘッドホンの電源ランプが暗くなります。早めに充電してください。

ご注意
付属の充電式ニッケル水素電池を十分に充電しても、使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。この充電式電池BP-HP550は市販されていませんので、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせの上、お取り寄せください。

乾電池（別売り）を使うとき

本機は別売りの単4形乾電池でもご使用になれます。「付属の充電式ニッケル水素電池を充電する」の手順1から3と同じ方法で乾電池を本機に入れます。

乾電池を入れた状態では充電されません。

乾電池の種類	持続時間*1
ソニーアルカリ乾電池 LR03/AM-4(N)	約60時間*2
ソニーマンガン乾電池 R03/UM-4(NU)	約28時間*2

*1 1 kHz,1 mW+1 mW出力時

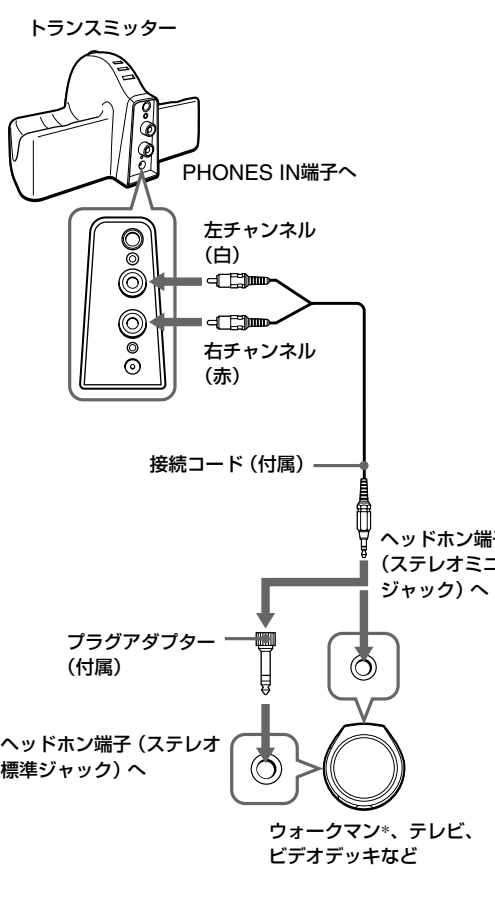
*2 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

トランスミッターを設置する

トランスミッターの2種類の入力端子は、それぞれ専用の入力端子です。PHONES INはヘッドホン端子に、LINE INはLINE OUT端子につないで使います。

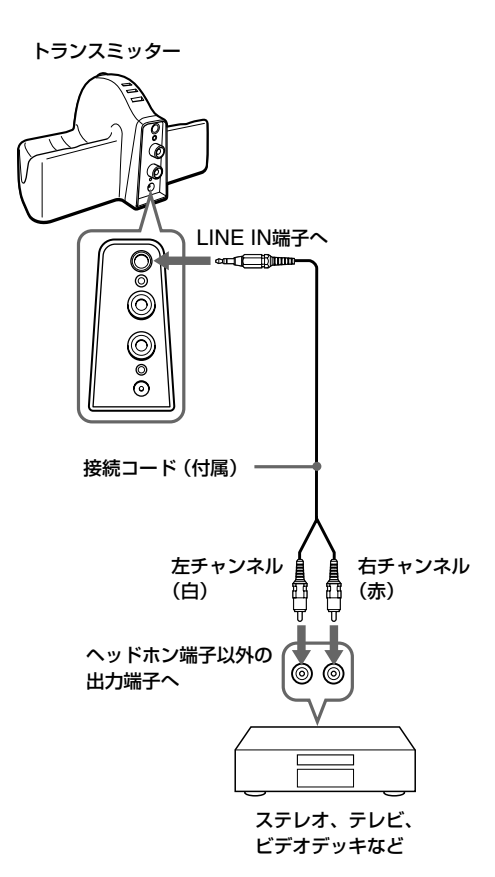
1 トランスミッターをAV機器につなぐ。AV機器の出力端子の種類に合わせて**A**または**B**を選んでください。

A ヘッドホン端子につなぐ場合
トランスミッターのPHONES IN端子につなぐ。



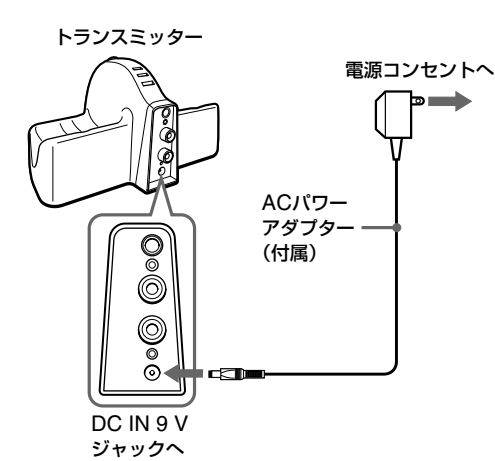
* ウォークマンはソニー（株）の登録商標です。

B ヘッドホン端子以外の出力端子につなぐ場合
トランスミッターのLINE IN端子につなぐ。



ご注意
お持ちのAV機器のLINE OUT端子がステレオミニジャックのときは、別売りの接続コードRK-G136を使って、トランスミッターのLINE IN端子につないでください。AV機器のLINE OUT端子とトランスミッターのPHONES INをつなぐと音が小さくなります。

2 トランスミッターを電源につなぐ。



ご注意
• PHONES IN端子をLINE IN端子と同時に使わないでください。両方の端子に2台のAV機器を同時につなぐと、両方の信号がミックスされて出力されます。
• この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。



- 接続コードをイヤホン端子（モノラルミニジャック）に直接つないだ場合は、右チャンネルの音が出ないことがあります。このときは別売りのプラグアダプターPC-236MS（ステレオミニジャック⇄モノラルミニプラグ）を接続コードとイヤホン端子の間につないでください。

使いかた

音声を聞く

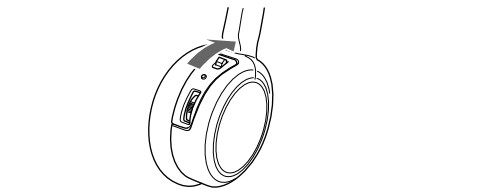
はじめに耳の保護のため、ヘッドホンの音量を下げた状態で約1時間おきに行ってください。

1 トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れる。

つないだAV機器から音声信号が入力されるとトランスミッターの電源が自動的に入り、赤外線発光部が点灯します。ただし、トランスミッターが充電中のときは、赤外線発光部は点灯しませんのでご注意ください。トランスミッターをヘッドホン端子に接続した場合は、接続した機器のボリュームを、音がひずまない範囲でなるべく大きくしてください。

2 ヘッドホンの電源を入れる。

右ハウジング部上の電源ランプが赤色に点灯します。



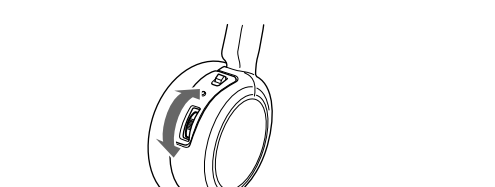
3 ヘッドホンをかける。

右ハウジング部（R）を右耳に、左ハウジング部（L）を左耳に合わせてください。

4 トランスミッターに接続した機器を再生する。

5 音量を調節する。

音量を調節するときに、赤外線受光部を手でおおうとミュート機能が働き、調節できない場合があります。その場合は、トランスミッターに近づくと、左側の赤外線受光部をトランスミッターに向けて調節してください。



使い終わったら

ヘッドホンをはずしてから、ヘッドホンの電源を切ります。ヘッドホンをトランスミッターにのせても、ヘッドホンの電源が自動的に切れます。

ご注意
ヘッドホンをはずす前にトランスミッターからACパワーアダプターをはずすと、雑音が入ることがあります。

ヘッドホンをトランスミッターにのせると自動的に充電が始まります

― オートチャージ機能

ヘッドホンの電源を切らなくても、ヘッドホンをトランスミッターにのせるだけで自動的に電源が切れ、充電されます。ヘッドホンをかけたり、はずしたりしてお使いになるとき、ヘッドホンの電源を切り換える必要がありません。

雑音が増えると自動的に音が聞こえなくなります

― ミュート機能

赤外線が届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりすると、雑音が増え、音が聞こえにくくなります。この雑音による耳への負担を減らすため、自動的にミュート機能が働き、ヘッドホンから音が聞こえなくなります。トランスミッターに近づくと、赤外線がさえぎられないようになれば、自動的にミュート状態は解除されます。

約5分以上音声信号が入力されないとトランスミッターの電源が自動的に切れます。

ご注意
トランスミッターの赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線が届く範囲などの性能には影響ありません。

その他

使用上のご注意

取り扱いについて

トランスミッター、ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

次のような所には置かないでください

- 直射日光があたる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所（なるべく5℃～35℃の範囲でご使用ください。）

- 風呂場など、湿気の多い所

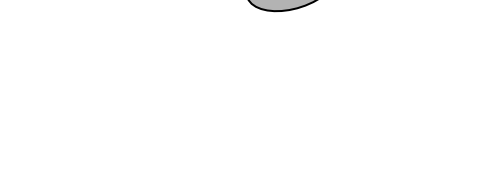
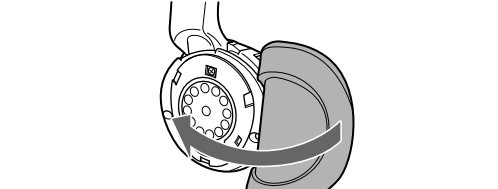
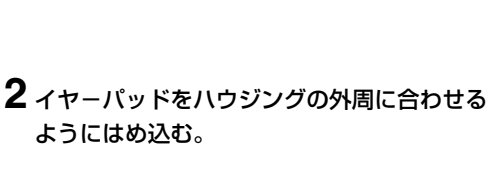
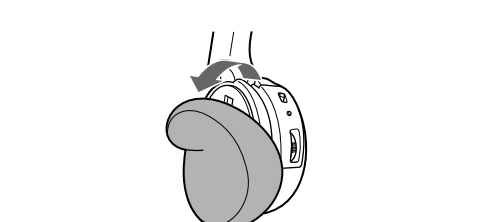
長い間ご使用にならないときは

- ヘッドホンから充電式電池を取り出しておいてください。液もれやさびつきの原因となります。
- ACパワーアダプターをコンセントから抜いておいてください。

イヤークッションを交換するには

イヤークッションは消耗品です。汚れたり破損した場合は、下図を参照してイヤークッションを交換してください。このイヤークッションは市販されていませんので、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせの上、お取り寄せください。

1 古くなったイヤークッションをはずす。



故障かな？と思ったら

音が出ない。音が小さい。

- ヘッドホンの電源を入れてから、ヘッドホンをつける。
- トランスミッターとAV機器、ACパワーアダプターとの接続、電源コンセントとの接続を確認する。
- トランスミッターにつないだAV機器の電源が入っているか確認する。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。

- ミュート機能が働いている。
- トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
- なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。
- トランスミッターの位置や角度を変える。

- ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している。

- 充電式電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。

- トランスミッターのPHONES IN端子をAV機器のLINE OUT端子につなぐと、音が小さくなります。「トランスミッターを設置する」をご覧ください。
- トランスミッターのLINE IN端子とAV機器のLINE OUT端子をつないでください。

音がひずむ。

- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、接続したAV機器の音量を下げる。

- ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している。

- 充電式電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。

- AV機器のヘッドホン端子をトランスミッターのLINE IN端子につないでいる場合、AV機器の音量を上げると音がひずみます。「トランスミッターを設置する」をご覧ください。
- トランスミッターのPHONES IN端子とトランスミッターのPHONES IN端子をつないでください。

雑音が多い。

- トランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。（トランスミッターから離れるにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線特性によるもので、故障ではありません。）
- トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。

- 赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。

- 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または、直射日光の当たらない場所で使う。

- トランスミッターの位置や角度を変える。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。

- ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している。

- 充電式電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。

- すでに本機以外のトランスミッターをお持ちのときは、同時に2台以上のトランスミッターを使っていないか確認する。

- 本機以外のトランスミッターの電源を切るか、本機以外のトランスミッターからの赤外線が届かない所へ移動する。

充電できない。

- 充電ランプが点灯しているか確認する。ヘッドホンがトランスミッターに正しい位置にのせられているか確認する。

- 乾電池が入っている。
- 付属の充電式ニッケル水素電池を入れる。
- 付属以外の充電式ニッケル水素電池が入っている。
- 付属の充電式ニッケル水素電池を入れる。